

身近な自然再発見 …人間と共生する昆虫たち…



▲右側の写真は白黒を
反転させたものです

1 「モンシロ」×「モンクロ」
チョウの名前の決めかた

桜の花が咲く頃になると町内の家庭菜園などでモンシロチヨウを見かけるようになります。チヨウなどの昆虫は地球上で100万種を超える種類が記録されています。毎年新種が見つかって増える一方の虫たちのことをよく知るために、まずその名前を知ることがスターです。そこで、今回は虫の名前について考えてみましょう。

モンシロチヨウは「紋がある白いチョウ」ということです。でも、実際のモンシロチヨウの紋は黒い丸をしています。モンがクロいチョウですから、モンクロチヨウと呼んでも構わないのじやないでしょうか。モンシロかモンクロか? チヨウの仲間はシロチヨウ

皆さんはどちらの名前を採用しますか? 実は、「羽が白い黄色いチヨウだからキチヨウと名付けられた?」と言う風に。次回は、小山田のホタルに隠された秘密を紹介します。今度チヨウを見かけて、図鑑などで名前を確認する機会があれば、その由来を推理してみるのも面白いと思います。



毎月6人に500円の図書カードをプレゼント!

だれでも
イラスト
レーター

さくらっキー

四ツ葉のクローバー
おしのともこ作



大河原町観光物産協会HP上で連載中
<http://www.oogawara.com>

科というグループでまとめられています。ですから、モンクロチヨウでは「紋がある黒いチョウ」ということになります。チヨウの名前は、「キアゲハ(黄色いアゲハ)」などのように見た目で分かる特長とその名前を組み合わせた名前が付けられているのです。

今度チヨウを見かけて、図鑑などで名前を確認する機会があれば、その由来を推理してみるのも面白いと思います。次回は、小山田のホタルに隠された秘密を紹介します。今度チヨウを見かけて、図鑑などで名前を確認する機会があれば、その由来を推理してみるのも面白いと思います。



オレンジ風味のコールスローサラダ



レシピ担当
大泉しげ子さん
(中町区)

これがアート? というようなものでも…。
も面白いのですが…。
えずこホールでも、コンサートや演劇公演のほかに、ダンス、現代美術ほか、様々なジャンルのアートプログラムを種々開催しています。「文化・芸術」が敷居が高いから「アート」という言葉を使う。「アート」という言葉も敷居が高いなら、アートでなくともいいのかもしれません。楽しくクリエイティブになれる何か。それでいいのかもしれません。



これがアート? というようなものでも…。



問えずこホール 52-3004 URL <http://www.ezuko.com>

春夕焼はときめきの色明日の色
桜咲く地下より声の溢れること
嬰児の声は七色風光る
オカリナの音色乗せ来し桜東風
足音をしのばす蝶の生るとき
ランドセルに弾ける空や風光る
芥子菜の匂ひに触れて散歩径
うしろより父に似し声夕ざくら
春光や歌声ひびく新校舎
船出待つ漁夫の無口や春の雪
雨止んで山茱萸の黄光りだす
出棺の警笛ながし鳥雲に
朝桜口笛吹いて犬連れて

吾妻 文子
石垣テル子
伊澤二三子
及川美沙子
大久保和子
鈴木 純子
中野西範子
永野 シン
藤原 恵子
山家美智子
三塚 直樹
遊佐 徹
佐藤きみこ
遊佐 徹
佐藤きみこ

[大河原俳句会]

わがまち文芸道場

[大河原俳句会]